

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「メッシュフェンスⅣ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表記	意味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表記	意味	表記	意味
 改訂	商品や作業の変更点	 シーリング材	必ずシーリングをする箇所
 チェック	作業するうえで必要な情報	 電動ドライバー禁止	電動ドライバーの使用禁止
 ポイント	知っておくと便利な情報	 電気工事	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

安全にお取り扱いいただくために

警告

- 本商品は、敷地境界・隣地境界を目的とした一般住宅地外構用のため、高低差のある境界やベランダ、廊下、屋上など転落の起きるおそれのある場所には、使用しないでください。誤った使用は、転落や墜落および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 取り付け方向、設置場所に指定がある場合は指定に従って取り付けてください。性能低下および思わぬ事故やけがの原因となります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、商品の落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。締め付け不良は商品の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。

お願い

- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けしないでください。商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ブロックに柱を立てる際、ブロックの連結部には柱を立てないでください。ブロックおよび商品の倒壊や破損、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使用してください。酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具(保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具)を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください。やむを得ず屋外に置く場合は湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

同梱一覧

■フェンス本体

姿 図	-
品 名	フェンス本体
EFI-(DS)-3F-20###	1

■アルミ自由柱

姿 図	-				
品 名	アルミ自由柱	フックボルト (M5)	フランジ付ナット (M5)	接続金具	
品 番	-	3K-18985	3K-11829	6K-18605	
EFI-(DS)-PF8-06 EFI-(DS)-PF8-08 EFI-(DS)-PF8-10	H600~H1000	1	2	2	3
EFI-(DS)-PF8-12	H1200	1	2	2	4

姿 図		-	-	
品 名	中トラス タッピングねじ (φ4×12)	組立・施工 説明書	取扱説明書	
品 番	EM-4012D8	-	-	
EFI-(DS)-PF8-06 EFI-(DS)-PF8-08 EFI-(DS)-PF8-10	H600~H1000	3	1	1
EFI-(DS)-PF8-12	H1200	4	1	1

■コーナー金具

姿 図				
品 名	コーナー継手	押え金具	トラス小ねじ (φ5×8)	
EFI-(DS)-B26-2	H600~H1000	2	4	4
EFI-(DS)-B1-2-XA	H1200	2	4	4

■オプション 端部キャップ

姿 図			
品 名	端部キャップ(小) 線材φ3.6用	端部キャップ(大) 線材φ4.5用	
EFI-(DS)-K10-15	H600~H1000	15	-
EFI-(DS)-K12-20	H1200	14	6

■オプション 補修ペイント

姿 図	-
品 名	補修ペイント
EFI-(DS)-K9	1

■オプション 補修部品

姿 図				
品 名	フックボルト (M5)	フランジ付ナット (M5)	接続金具	中トラス タッピングねじ (φ4×12)
品 番	3K-18985	3K-11829	6K-18605	EM-4012D8
EFI-(DS)-K14-10	10	10	10	10

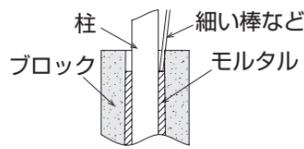
柱の施工

⚠ 注意

- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩系混和剤（急結剤など）や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。

お願い

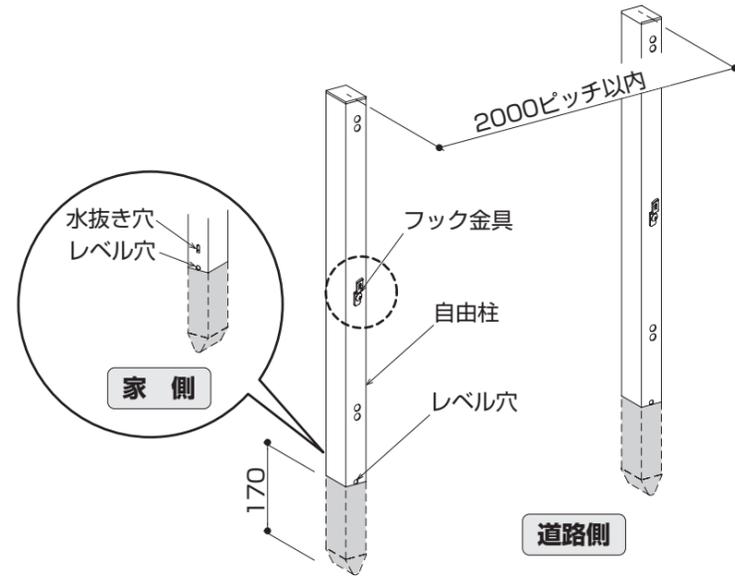
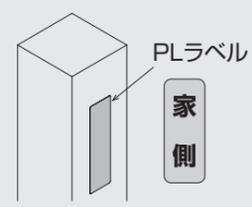
- コンクリートやモルタルなどが商品の表面に付着した場合はすみやかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリートやモルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水がたまり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 細い棒などで突き固めながらモルタルを充てんしてください。モルタルが強固になっていない場合、強度低下の原因となります。
- 柱の埋め込み部分先端の小口キャップは取りはずさないでください。柱内部に侵入したモルタルによって、柱が腐食膨張するおそれがあり、ブロック割れの原因となります。
- 柱内部の発泡スチロールを抜き取らないでください。柱内に浸入した水が凍結して膨張した場合、ブロックが割れたり、柱が破損したりするおそれがあります。



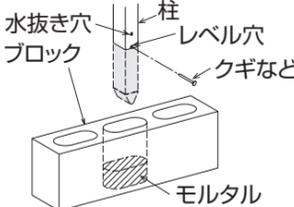
1 柱の間隔、水平、垂直、出入りを確認のうえ、モルタルで固定してください。
(-8-「寸法図」参照)



柱にPLラベルが貼ってあります。使用時に家側から見える位置になるように配置してください。



ブロック穴にあらかじめモルタルを入れ、柱を差し込むと施工が容易です。釘などを使用して各柱の高さを揃えてください。



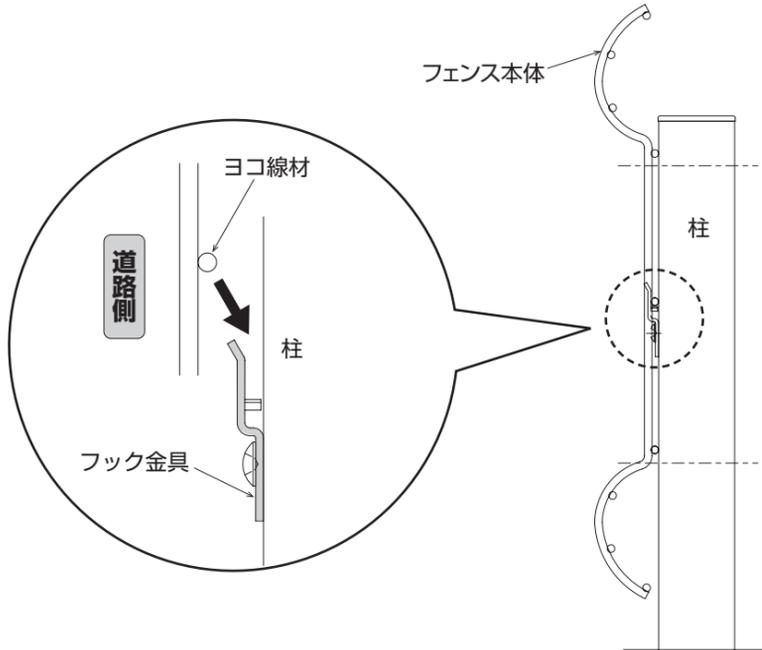
フェンス本体の取り付け



フェンスの切り詰めが必要な場合

(-7-「フェンスの切り詰め方法」参照)

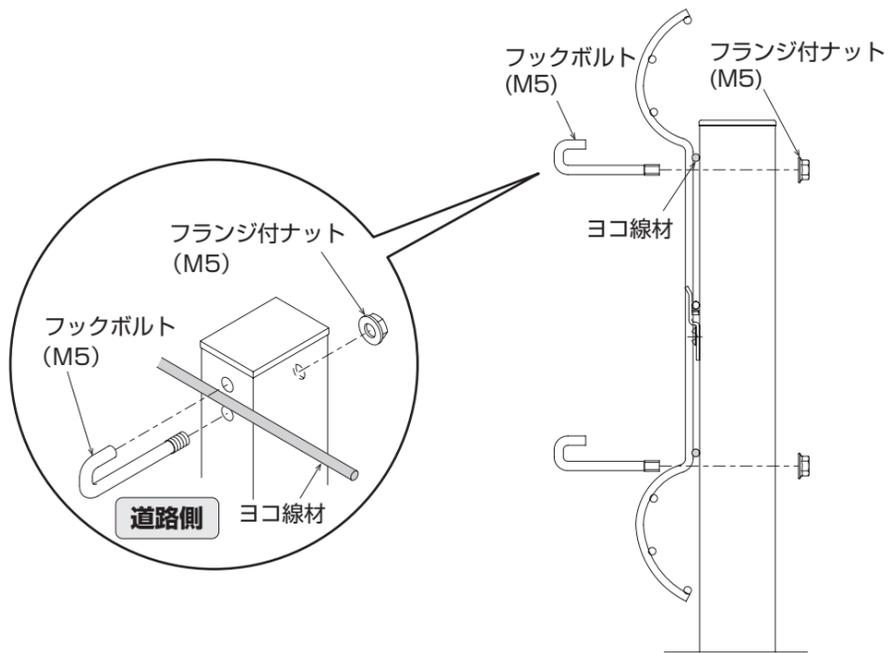
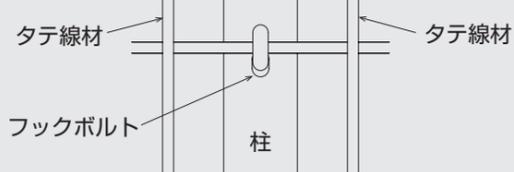
1 ヨコ線材を柱フック金具に引っ掛け、仮固定してください。



2 ヨコ線材をフックボルトで本固定してください。



フックボルトは、タテ線材部を避けて固定してください。タテ線材部には取り付けできません。



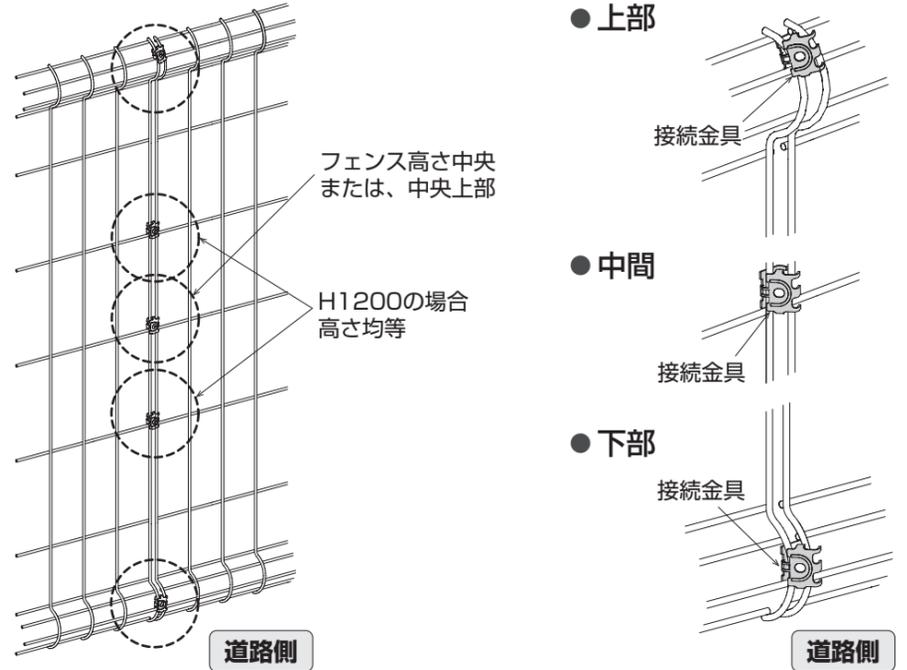
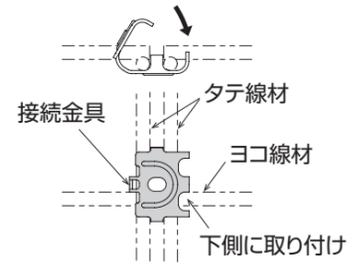
柱とフェンス本体の連結

直線連結部

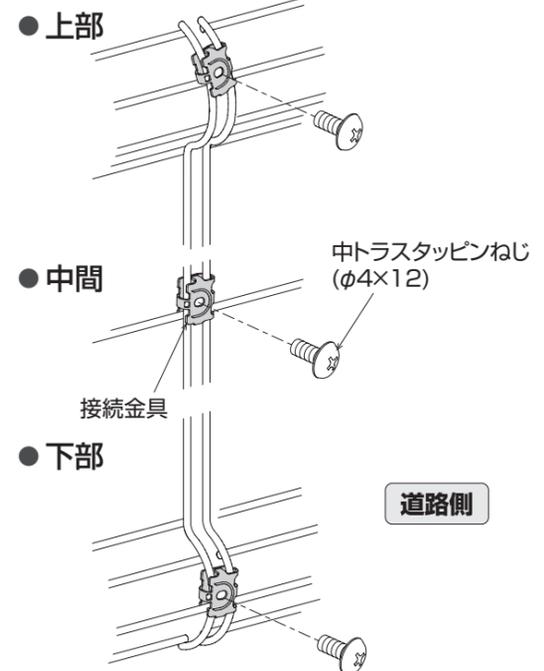
1 接続金具の下側をヨコ線材位置にあわせ、タテ線材をはさみ込んでください。



接続金具は、クリップのようになっています。

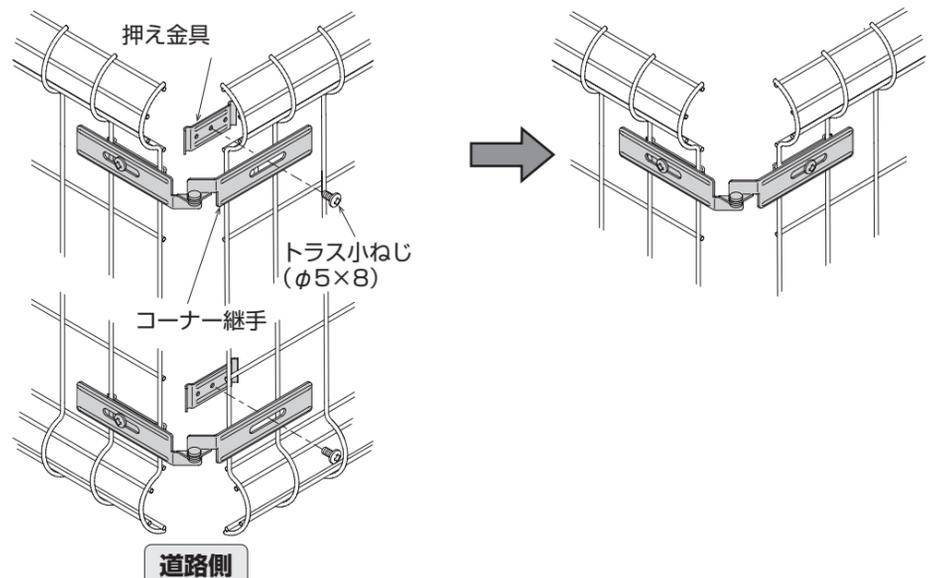


2 接続金具をしっかりと閉じ、ねじで固定してください。



コーナー連結部

1 コーナー継手と押え金具でフェンスをはさみ、固定してください。



フェンスの切り詰め方法



H1200用の場合

端部キャップには大小があります。

●上部

キャップ(大)を
取り付け 3箇所



●下部

キャップ(大)を
取り付け 3箇所

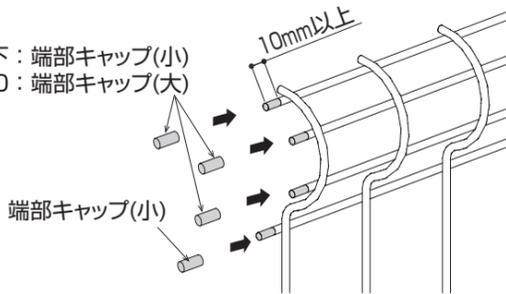


1 端部キャップの装着のため、長さを10mm以上残し、フェンス本体を切断してください。

2 切り詰めたフェンス本体を端部またはコーナー部側に使用してください。

3 切断部に端部キャップ(オプション)を取り付けてください。

H1000以下：端部キャップ(小)
H1200：端部キャップ(大)



寸法図



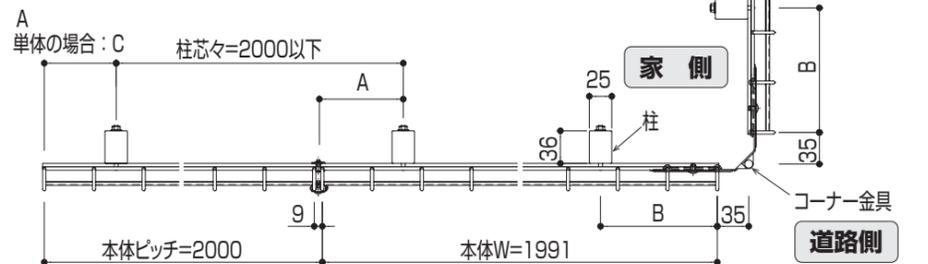
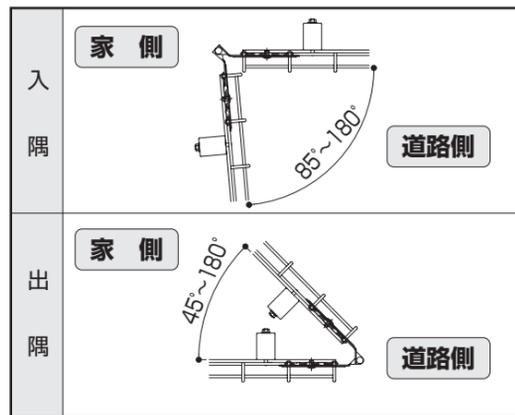
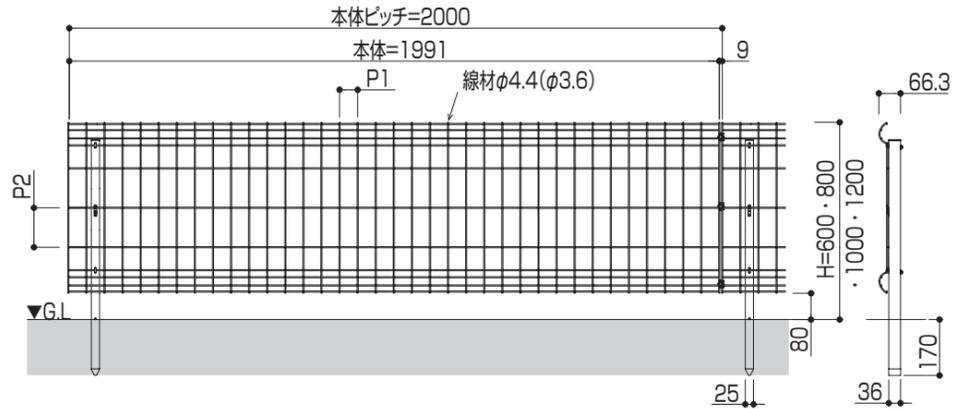
柱ピッチは、2000mm以下で施工してください。
柱は、フェンス本体1枚に最低1本必要です。

端部、連結部からの柱位置は、Aの範囲で施工してください。連結部に柱は立てられません。

コーナー端部からの柱位置は、Bの範囲でそれぞれのフェンスに各1本施工してください。

単体1枚で施工する場合は、端部からの柱位置をCにしてください。

線材の寸法は塗装処理後の外径寸法です。
()内は芯径を示しています。



	P1	P2	A	B	C
H600~1000	60.3	150	20~200	80~200	150
H1200	55.3	120	20~200	80~200	80